



【芝生には愛くるしい表情のリスがこちらを向き黒いつぶらな瞳で微笑む】

ワシントンにきた。
ニューヨーク（ペンシルバニア駅）から鉄道（アムトラック）で4時間弱。
そしてここはホワイトハウス。

ホワイトハウスの動きは世界を変える。
その数々の出来事を純白の柔らかな造りのなかに包み込みひっそりと建つ。
そこには小鳥のさえずりだけが際立つような静寂が漂う。
見上げれば、掲揚された星条旗は半旗となり、悲しくうなだれる。
前々日にあったラスベガス銃乱射事件での犠牲者への哀悼である。
その傍ではスナイパー（警備の狙撃兵）の黒い影がうごめき、こちらの様子をうかがう。
これがアメリカの見せる顔の一つでもある。